



STOP! 介護崩壊 介護ウェブ2011 推進ニュース

— 介護ウェブの “Big Wave” をおこそう! —

方針「今後の介護ウェブの取り組みについて」を具体化し介護改善要求の声を国会に届けよう!

**「介護保険法改正案」が衆議院本会議で可決! 審議の舞台は参議院へ
現場の実態にもとづく事例を持って国会行動に結集し、介護改善の声を議員に届けよう!**

「介護保険法改正案」(介護サービスの基盤強化のための介護保険法等の一部を改正する法律案)が、5月31日に衆議院本会議で可決(共産党、社民党は反対)され、審議の舞台は参議院に移ります。衆議院厚生労働委員会の質疑の中で、高橋千鶴子議員(共産党)は、北海道民医連が5月に取りまとめた「要支援ヘルパー事例調査(26事業所から46事例を集約)」を紹介し、要支援利用者は、要介護の利用者と同様に、様々な困難を抱えながらもヘルパーの援助により、なんとか在宅生活を維持している実態等を告発しました。また、赤嶺政賢議員(共産党)は、昨年11月に取りまとめた、全日本民医連「介護保険10年検証事例調査結果」から地元沖縄の事例を紹介しました。

現場の実態に基づく事例から、介護改善の声を国会議員に届けることが重要です。今後の議員要請行動には、介護の現場の声、利用者やご家族の状況をより多く伝えるための「事例」を持ち寄ろう!

**台風が去って介護ウェブがやってきた! 署名・宣伝行動に12名が参加
介護学生や高校生の「頑張ってください!」の声に励まされる(奈良・健生会)**



台風が去った5月30日に、近鉄高田駅前「介護保険制度の根本的な改善を求める署名」宣伝行動を行いました。参加者は12名でマイクリレーで訴えながら署名をお願いしました。17時から18時の約1時間で61筆の署名が集まりました。昨年11月11日の「介護の日」以来の宣伝でしたが、介護学生や高校生の「頑張ってください!」の声に励まされながら元気いっぱい宣伝を行うことができました。(2011年5月31日 奈良・健生会より)

**「介護予防・日常生活支援総合事業」は国の方針に沿って計画
介護ウェブ実行委員会主催で、倉敷市保健福祉局と懇談(岡山・倉敷医療生協)**

5月27日(金)介護ウェブ実行委員会では、倉敷市保健福祉局に、「公民館などでひろく介護予防活動の推進」「透析患者のタクシーチケットを世帯非課税でなく本人非課税に」、「買い物や受診時の交通手段の確保」、「配食サービスのアセスメントの簡略化」、「生活保護の方の権利擁護制度導入の改善」、「知的障害・精神障害のある高齢者の施設の整備」、「透析患者の高齢者の施設確保」など11項目の要望を提出し懇談しました。市からは局長をはじめ各課から12名が対応しました。実行委員会からは組合外のケアマネジャーを含む24名が参加し、田辺昭夫市議会議員が同席しました。「介護予防・日常生活支援総合事業」は国の青写真が決まればそれに沿って計画していくと回答があり、引き続き懇談していく必要があります。(岡山・倉敷医療生協 介護ウェブニュース2011.05.31より)



お問い合わせは、「介護ウェブ推進本部」事務局：山平・名波まで

TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp